

(参考様式6)

農山漁村振興交付金（農山漁村活性化整備対策）
事業活用活性化計画目標評価報告書

平成29年9月1日作成

活性化計画名	滝上町活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
滝上町	15601	1	平成24年度 ～平成28年度	平成24年度 ～平成26年度
活性化計画の区域				
滝上町全町域（総面積76,689ha） なお、市街化区域は有していない。				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率(%) B/A	備考
定住人口の確保	10.92ポイント	12.04ポイント	110.25%	転入÷転出
交流人口の増加	900.00%	911.11%	101.23%	区域外の交流者数（目標交流人口÷現状交流人口）

(コメント)

活性化計画の目標である「定住人口の確保」と「交流人口の増加」については目標達成が図られた。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
簡易給水施設	配水池施設 増圧ポンプ場 配水管延長	1箇所 1箇所 13,150m		滝上町
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
滝上町	平成24年度	平成26年度	平成27年4月1日	
事業の効果				
供給が不安定な地下井戸に頼る区域に、簡易給水施設を設置したことによって、安定した給水能力が補完することができた。				

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
高齢者・女性等 地域住民活動・ 生活支援促進機 械施設	木造平屋建 1棟 延床面積 188.81㎡			滝上町
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
滝上町	平成24年度	平成25年度	平成26年1月15日	
事業の効果				
地域住民活動支援促進施設たきのうえ交流センター「ぴあ」を設置することによって、地区住民の交流を促進する場所を創出することができた。				

3 総合評価

<p>(コメント)</p> <p>事業活用活性化計画である定住人口の確保については、計画年度によって数値の変動はあるものの、計画数値を達成する状況であり、簡易給水施設を設置し、生活を営むことに欠かせない水を確保することが、地域住民活動に安定をもたらし、結果として地域の崩壊を防ぎ、人口流出に一定の歯止めをかけることができたと考える。</p> <p>また、交流人口の増加については、地域住民活動支援施設を建設することで、世代間、地域間の交流を促進する場が創出できたと考えており、児童館や地域の集会所、障がい者との交流の場や災害等避難施設としても機能している。</p> <p>とくに、高知県越知町と交流は、本施設が交流計画の策定や町PR活動の場として機能しており、交流人口が増える中で、移住・定住政策にも寄与する交流活動の場として推進、活用して参りたい。</p>

4 第三者の意見

<p>(コメント)</p> <p>[滝上町農業委員会 会長 舟根 功]</p> <p>本活性化計画による二つの施設整備によって実践された事業は、過疎高齢化が（平成29年7月末の町内人口は2,683人）進行する山間地域の町において、その計画目標を達成するに至ったことは評価できる。</p> <p>今後とも、地域内外の交流を図り、移住定住、人口の確保のための活動を推進して頂きたい。</p>

【記入要領】

- (1) 計画主体コード、計画番号は年度別事業実施計画に記入した番号とすること。
 - (2) 「1 事業活用活性化計画目標の達成状況」のコメントには、目標が未達成となった場合は、その理由を記入すること。また、達成状況が低調である場合は、実施要領別紙5第8の2の(1)及び(2)に基づき改善計画を作成し、農林水産大臣に提出すること。
 - (3) 「2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果」は事業メニュー毎に作成すること。また、「事業の効果」には事業の実施により発現した効果（農山漁村の活性化に関連する効果）を幅広く記入すること。
 - (4) 第三者とは「当事者以外の者」「その事柄に直接関係していない人」であり、計画主体、事業実施主体、管理主体のいずれの組織にも属さない者で事業地区を熟知している者。公務員は対象外とし、事業評価委員会等の組織を有する場合は積極的に活用すること。
- ※ 達成率等算出根拠（参考様式6添付資料）を必ず添付すること。